

かさおか

発行所

天理教笠岡大教会

かさおか編集掛
笠岡市用之江377
郵便番号714-0066
(0865)

電話 66-1311
FAX 66-1314



坪生分教会

明治45年4月6日 設 立
昭和48年12月2日 鎮座祭
昭和48年12月3日 神殿建築奉告祭

陽気ぐらしを目指して、たすけの輪を広げよう

今一手一つに、一步一步！

- *一教会、初席者一名以上
- *おさづけを身近に
- *百万件のにをいかけ

創立百三十周年記念祭並六代会長就任奉告祭

立教184年(2021年)10月24日 執行

立教183年
12月号

アフリカ孤児支援の為に 小さなバザー開催 海外部

今年4月、予定していた第4回桜祭り、予期しなかった感染症によって中止せざるを得なくなりました。それまでに集まった支援のための物資を生かすことと、今年タンザニアおたすけ訪問が不可能になったことから、小さな事でも動きにしたいと、10月・11月の月次祭の祭典終了後から短い時間で、消毒やマスクの着用などを徹底して小さなバザーを開催しました。たまにたま教会内をいつも散歩されている老人ホームの入居者さんやスタッフの人達が準備の段階で見に来られ、当日も足を運んでくださいました。小さいながらも地域への働きかけに繋がれたように感じ、喜びを頂いた気がしました。結果として動きを止めることなく、来年へ繋げていける活動になりました。



「小さな」とは言え、品数はそこそこ...

力ですが、多くの方々のお心寄せとご尽力があったからこそ出来る活動であったと改めて思わせていただきました。心からお礼を申し上げます。

尚、約6万円の売り上げは、来年の活動で現地の孤児院へ寄付させていただく予定ですが、それが来年も叶わないのであれば、孤児院の子供たちが野菜を作るために荒れ地を開墾するためのトラクターを3台寄せられていますので、それを送るための送料に充てさせていただきますと思います。来年以降もよろしく申し上げます。

(海外部長 上原志郎)

冬季中の祭典及び立教184年年頭会議について

◎冬季中の祭典について

コロナ禍対策として、3密(密閉・密集・密接)を避けるため、冬季中の祭典日も、神殿周辺の障子・窓等をすべて開放し、参拝場内に暖房を用意しませんので、寒さ対策を充分に取って、ご参拝ください(一般参拝者用に毛布を用意してあります)。

また、厨房が3密になることを避けるため、ひのきしん者の人数を制限している関係で、しばらくの間、昼食はカレーライス等の単品となります。量が少ないと思われる方はご遠慮なくお替わりなさってください。

当日は、次の申し合わせ事項を厳守ください。

- ①大教会に来会時は、手指を消毒、必ずマスクを着用。
健康状態に異常(発熱等)がある方は来会をご遠慮ください。
- ②いずれの場所でも、ソーシャルディスタンスに配慮し、神殿内では1畳に1人ずつ(シールの貼ってあるところに)座って参拝。

◎年頭会議について

立教184年年頭会議は、例年通り、1月20日午後2時より開催します。

「冬季中の祭典」同様に対処しますので、寒さ対策を充分に取って、ご参加ください。

※例年、会議後に開催している恒例の会食は中止します。

陽だまり 56

ビエン・J・K

11月30日の夜、スマホのニュースを見て驚きました。今年の新語2020大賞は、なんと「びえん」！陽気誌から2020年12月号を以てと、戦力外通告を受け「陽だまり語録」の連載が終了したばかりなのに、もう新語大賞に選ばれるとはすごいと喜びました。しかし、よく見ると私のペンネームではありません。

「てんでんと まるのちがいは 大ちがい」なのでした。

さて、11月25日の夜、本部月次祭の昇殿参拝を翌日に控え、詰所で連載終了の喜びを一人で見みじみと味わっておりました。そこへ「かさおか」の編集長を兼任される詰所主任先生が来られました。先生は日頃のご多忙に加え、日本シリーズで大好きなプロ野球チームがソフトバンクにスウィープ(0勝4敗で負けること)され、お疲れの様子で、部屋の入り口近くに置いてあったタオル掛けに足をひっかけ、よろけそうになりながら入って来られま

した。連載終了に対して労いの言葉をかけてくださった後、先生は、やや遠慮気味に「かさおかへ、書いてくれへんかなあ」とおっしゃいました。敬愛する先生からのご依頼ですので、その場ですぐ快諾させていただきました。というわけで毎月ではございませんが「陽だまり56」のタイトルでしばらく寄稿させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

▼「ちよつとだけ不思議な話」

10月19日の朝、「陽だまり語録」最終回の原稿を編集部に送信した。やれやれ、12年と4か月もの間一度も穴をあけることなく、無事に連載できて良かったと安心していった。そのとき、妙にフラフラするので血圧を測ったら、200/115というかなり高い数値が出ていた。次第にめまいと吐き気もしてきた。すぐに家内におさづけを取り次いでもらい、掛かりつけの病院へ連れて行ってもらった。医師から診察後、「脳神経学的には、特別な異常はありません」と言われたし、症状も落ち着いたので安心して帰宅した。

いつの間にか年金をもらう年齢になり、ひと仕事終えて「長い坂道をゆつ

くりと下りながら、これまでと違った景色を眺めたいなあ」と、思ったりしたが、「そんな甘い考えでおったらあかんで！」と、神様が激励してくださったのだと、気を引き締めた。

その翌日、大学の部活OB会からメールが来ていた。同会には数百名の会員がいるが、そのメールの中で、私達より数年後の歴代部員たちや吹奏楽部、水泳部の人たちがずっとお世話になつてきた恩人が亡くなり、その告別式の様子が記されていた。それを読み進めているうち、「おやつ」と思った。以下メール本文より引用

「朝方は曇雨模様でしたが、ご出棺のときは青空となりマスターは『出直し』の旅に出られました。

※天理教では、死ではなく『出直し』と呼ぶそうです。神様からお借りしていた身体をひとまずお返しし、しばらく神様のふところを抱かれた後、新しい身体を借りて生まれてくる。死は人生の終わりではなく、新しい人生への出発を意味するそうです。(引用終わり)

この文章を書いた方は、初めて天理教の告別式に参列し大変感慨深かったとのこと。

私はこの「マスター」とは一度もお会いしたことがなく、無論、彼がようぼくであったことも知らなかった。しかし、同じ教えを信仰するものとして嬉しかったと、お礼の意味も含めてOB会へメールを投稿した。

また、以前、拙著「返信」を創部45周年記念誌に掲載してくれていたので、最近「父への手紙」と合わせて一つの短編小説に改編したことを報告した。すると私がインターネット上に公開している「陽だまり語録」を、それまではわずかな人にしか訪問してもらえなかったのに、その日から300人近くの方が閲覧してくれたのである。ほんの僅かだけど、「にをいがけ」になつたかなあと喜ぶと共に、不思議なことがあるもんだと感慨にふけっている。

◎ブログ版「陽だまり語録」をご覧になりたい場合は、スマホやパソコン等で「陽だまり語録」と検索されるか、下記アドレスを入力してください。

陽だまり語録



<https://hidamarigoroku-vjk.localinfo.jp/>

笠岡大教会 年間行事 予定表

部会 月	婦人会	青年会	少年会	学生会 学生担当委員会
1	28 婦人会創立の日		27 年頭幹部会	
2	3 直轄委員部長・委員研修会		21 テッチャンシアター (親子参拝 推進行事)	5~7 天理高校 受験世話取り 21 学生層育成者講習会
3			21 テッチャンシアター (親子参拝 推進行事)	----- 大学卒業生の集い Joyous Style 1~3 第1回 5~7 第2回 9~11 第3回 28 春の学生おがばがえり オンライン
4	19 婦人会本部総会		1 笠岡団おつとめまなび総会	
5	23 委員部長後継者講習会			----- おがば管内新入生歓迎会
6	6 こかん様に続く会	1~24 おやさとふしん 青年会ひのきしん隊入隊 27 ひのきしん団参(詰所)	21 縦の伝道講習会	
7				
8			21 テッチャンシアター (親子参拝 推進行事) 21~23 サマーキャンプ	9~15 学生生徒修養会 高校の部
9				
10		27 本部青年会総会		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">祭典講話(案)</p> <p>1月 世話人先生</p> <p>2月 ㊦学生層育成者講習会</p> <p>3月 山野弘実</p> <p>4月 大教会長様</p> <p>5月 横山逸郎</p> <p>6月 ㊦縦の伝道講習会</p> <p>7月 上原繁道</p> <p>8月 ㊦布教推進講習会</p> <p>9月 三島 涉</p> <p>10月 大教会長様</p> <p>11月 ㊦海外伝道講習会</p> <p>12月 佐藤道孝</p> </div>
11			21 テッチャンシアター (親子参拝 推進行事)	
12				
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月2日 ひまわり会 例会 1月・8月はなし ・毎月3日 婦人会 例会 1月・8月はなし ・毎月20日 女子青年 伏せ込みひのきしん 	◎有志ひのきしん隊(毎月)	◎教会おとまり会の実施 ◎テッチャンシアター (親子参拝) 2・3・8・11月の21日 祭典後	

◎よふぼく勉強会 毎月21日 午後1:30~2:00 (但し、大祭月、祭典講話が外部講師の月を除く)

立教184年(令和3年/2021年)

部会 月	全体行事 その他	ひのきしん	布教部	海外部
1	4~18 直轄教会春季大祭参拝 20 年頭会議	5~15 本部食堂(西ブロック) ▶印 記念祭に向けてのひのきしん		
2		▶ 客殿庭の滝整備 ▶ 真柱室 風呂庭の改造 ▶ 生垣 貝塚剪定 16~28 本部食堂(東ブロック)		
3	7 雅楽講習会 初級・初心者コース 28・29 修養科修了講習会		21 行列のできる勉強会	広島公園にをいがけ (英文パンフレット配布)
4		17~19 教祖ご誕生祭詰所受入	29 全教一斉ひのきしんデー	さくら祭 (アフリカ孤児支援バザー)
5	4~18 直轄教会定期巡教 5 大教会長杯親睦スポーツ大会 30・31 雅楽講習会	1~15 本部食堂(高屋ブロック) 5月~6月 ▶ 草刈り・剪定・伐採	21 行列のできる勉強会	
6	28・29 修養科修了講習会			
7	26 大教会任命願お運び	16~31 本部食堂(福山ブロック)		
8	26~2 こどもおぢばがえり	26~2 こどもおぢばがえり詰所受入 前半：7/26昼~30昼 後半：7/30昼~8/2昼	21 布教推進講習会	5・6 英語講習会
9	28・29 修養科修了講習会	8月~9月 ▶ 石畳・中庭レンガ 磨き ▶ 腐食箇所の塗装 ▶ 剪定・草刈り 仕上げ	1~30 布教推進強調月間 23 笠岡にをいがけ推進日 28~30 全教一斉にをいがけデー	
10	4~18 直轄教会秋季大祭参拝 24 創立130周年記念祭並 6代会長就任奉告祭	3 ▶ 客殿障子張り替え ▶ 記念祭用舞台設置 ▶ 総仕上げ 25~26 秋季大祭詰所受入		
11				広島公園にをいがけ (英文パンフレット配布) 21 海外伝道講習会 (月次祭に合わせて)
12	20 心定め提出 28 修養科修了講習会	22 年末大掃除 27 詰所餅搗		
備考	◎部長会議 毎月29日 午前10:00 ◎役員会議 毎月29日 午後 1:00 ◎役員並びに直轄教会長会議 毎月29日 午後 2:00 ◎直轄教会長の集い 毎月20日 午後 2:00 ●雅楽会練習 毎月21日 午前 8時~	註：ブロックの区分けは 東：岡山県以东の直轄教会 とその部内教会 西：広島県以西の直轄教会 とその部内教会 上府：上下、府中市		◎月例勉強会(毎月21日) ◎英語クラブ (毎月22日19時~20時半) ◎海外よるぼく月報

◎部長会議・役員会議・役員並びに直轄教会長会議：2月は末日、4・7・9・12月は20日(直轄教会長の集いに替えて行なう。但し、「4/29:全教一斉ひのきしんデー」・「7/29:こどもおぢばがえり」・「9/29:全教一斉にをいがけデー」が中止の場合は除く。)

部内教会長各位

立教184年 昇殿参拝について

立教184年1月から5月までの本部の春季大祭、教祖誕生祭、及び月次祭に、各教会から代表の方に昇殿参拝をしていただきます。つきましては、各教会の代表者を選定し、下記の通りお知らせください。

(担当：大教会・岡崎真一、詰所・上原 浩)

記

1) 代表者の選定等

【選定】各教会から、教会長を除く1名のみ、期間中の昇殿参拝希望者を選定。

【連絡】次の項目を大教会直轄教会長を通して、岡崎へ連絡。

⑦教会名・昇殿参拝希望者名

④各希望者について、「大祭・2月・3月・誕生祭・4月・5月」の内から、昇殿参拝希望の祭典の第1・第2・第3候補。

②車イス使用(付き添い者)・座イス使用・「この人(他教会の希望者)と一緒に参拝したい」等のその他の希望。

・直轄教会長は、部内から連絡があった都度、岡崎へ連絡(メール・LINE等のテキストで)。

【決定】毎回の定員(22・23名)になり次第(または、各祭典の1週間前までに)、直轄教会長あてに参拝予定者を発表。

【通知】直轄教会長は、各教会の昇殿参拝予定者に通知。

2) 昇殿参拝者の留意事項 (上記【選定】の時点で、希望者にお伝えください。)

コロナ禍の増加傾向等に配慮し、次の各点に留意願います。

①祭典日1週間前から当日まで、各自、検温。

②体調不良・不安がある等、状況によっては、昇殿参拝を辞退・帰参を見合わせるなど、無理のないように対応。

③前日からの詰所泊・詰所食については、3日前までに、詰所へ連絡。

④昇殿参拝者は、全員、詰所発のマイクロバスに乗車。詰所出発時刻は、当日の午前8時(春季大祭は10時半、誕生祭は9時)。

※不慮の事態により、発車時刻に間に合わない場合は、発車30分前までに、必ず、詰所(上原浩)へ連絡してから、神殿まで直行。ただし、発車時刻より1時間を過ぎると昇殿できず欠席扱いとなる。

⑤昇殿参拝の際には、必ずマスク・ハッピー(正装)を着用し、近距離での会話を避ける。

⑥神殿到着後は、東礼拝場階下の受付に代表者が名簿を提出し、全員まとまって昇殿。係員の指示に従って着座。

⑦車イスを利用する場合は、付き添い者(同日の昇殿参拝者)といっしょに、西礼拝場外のスロープ昇降口から入場、西礼拝場内車イススペースで参拝(受付不要、車イスの貸出有り、前日までに岡崎へ連絡)。

⑧座イスを使用する場合は、西礼拝場車イススペースで参拝(殿内の畳の上・廻廊では使用不可)。

⑨欠席の場合は、前日までに(参拝者交替の場合は、直轄教会長から)、岡崎へ連絡。

⑩あらかじめ欠席の連絡をしていた場合、次回以降に欠員があれば、追加で参拝できますので、希望があれば、早めに直轄教会長を通して岡崎へ連絡。

※なお、「できるだけいろんな方が参拝できるよう配慮するように」とのことで、「各教会の代表」は「原則、教会長以外」としましたが、教会長以外に希望者がいない場合は、教会長でも差し支えありません。

※教会長を含めても希望者がなさそうなときは、その教会の枠を他の教会に回すことができ、1教会から複数人または1人が複数回、昇殿参拝できることとなりますので、できるだけ早めにお知らせください。

※不明の点は、担当者・岡崎真一(090-7508-8135)までお問い合わせください。

以上

十一月月次祭祭文

此の笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます

親神天理王命の御前に 会長上原理一 慎んで申し上げます

親神様の親心溢れるご守護と陽気ぐらしへのお導きを頂いて日々は結構に恙なく生活くらしさせて頂いております 気がつけば服装も半袖から長袖へ 長袖からセーターへと変わり 夏から秋を経て冬へと確実に移り変わって行く事を感じます 人間の都合だけ考えれば 暑いより涼しい方が 寒いより暖かい方がと 一年中過ぎしやすいのが良いと思いが冬と夏があるからこそ春と秋の良さが引き立つと思えば やはり四季の有難さを感じます 親神様の妙なるご守護に御礼申し上げます

私共は 親神様のその妙なるご守護を一人でも多くの人に伝えたいと 日々は朝に夕にと御礼申し上げます 「陽気ぐらしを目指して たすけの輪を広げよう」を心に たすけ一条のご用の上に努めさせて頂いております

その中今日の吉日は これの笠岡にお許し下された御祭り日でございますので 只今からおつとめ奉仕人一同 気持ちも新たに 喜び感謝の心一杯に 明るく陽気に勇んで坐りづとめ てをどりを勤めて十一月の月次祭を執り行わせて頂きます 御前には コロナ禍にありつつも 今日の日を楽しみに寄り集いました道の子供達が 日頃のご高恩に言改めて御礼申し上げる勇んだ姿をご覧頂きまして 親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

さて 発生より一年程たつて未だに コロナ禍の中にあり お道の人に限らず皆誰しもが コロナ禍の一日も早い終息を願っておりますが 「願い通りでは無く 心通りの守護」と常々お聞かせ頂くように コロナ禍を通して心の成人を圖つていく事が大切と思わせて頂きます 改めて立教の本旨は「世界だすけ」であり 「たすけ」は身上事情の元である「心だすけ」にある事をしっかりと心に刻み 身上事情だすけを通して「心のたすけ」が出来るよう自らの心の研鑽をしっかりとすけ一条のご用の上に努め励ませて頂く所存でございます

何卒親神様には 「成ってくるのが天の理」とどんな中も喜びと励みに変えておたすけに邁進する 皆の誠実の心をお受け取り下さいまして 万たすけの上に尚一層自由のご守護を賜り 親心に触れ親の守護を知り かしものかりもの喜びを胸に欲を忘れて助け合う人が弥増してお望み下さる陽気ぐらしの世の状が一日も早く実現しますようお願いの程を一同と共に慎んでお願い申し上げます

スマホで読める

陽気ぐらし情報

ますます充実!

月曜更新



JOYOUS LIFE!

立教百八十三年十一月月次祭 祭典役割表

胡弓	三味線	琴	小鼓	すりがね	太鼓	拍子木	ちゃんぽん	笛	おつとめ			地方	役割	区分	講話	祭主	扨者				
									てをどり	上原繁道	上原明勇							大教会長様	吉岡道徳	大教会長様	中村道徳
									上原愛美	上原明勇	大教会長様							吉岡道徳	大教会長様	中村道徳	
今川佐智子	佐藤香苗	虫明好美	吉岡誠一郎	杉原博之	谷内伸自	佐藤道孝	中村剛	岡崎真一	田中ますみ	上原愛美	大教会奥様	上原明勇	大教会長様	吉岡道徳	大教会長様	中村道徳					
菅尾一美	岡崎豊子	森本富美子	岡田誠	三島渉	高木昭祥	山田敏教	横山逸郎	森本忠善	山野なつ	高木孝子	門脇加津	山野弘実	今川昌彦	門脇元教	杉原善朗	杉原博之	上原明勇				
室悦子	岡崎和美	三島照美	赤木素志	内海史郎	岡崎真一	三代温生	渡邊隆夫	上原繁次	吉岡八恵	中村初美	内海安子	虫明立生	中島誠治	上原志郎	浅野明教	横山逸郎	上原浩				
													坐り勤	前	後	二月講話	指図方	賛者			
													谷内伸自	学生層育成者講習会	上原明勇	赤木素志	上原明勇	上原繁次			

大教会だより

◎教人資格講習会(全期)修了者

立教183年12月11日終講
木津和 丸山 周太



今年10月6日、東北地方在住の叔父が満99歳で出直した。本来なら親族ではあるが所属の会長を務める私が斎主をするべきところ、移動距離など時間的にも準備が難しく仙台大教会に葬儀

の依頼をする事にした。23年前に叔母が出直した時にもお願いをした経緯があったからだ。親戚数人でみたまうつし・告別式参列の相談をし新幹線・宿泊ホテルの準備が整い、いざ出発する前夜になって叔父の娘から電話があった。現在コロナ感染拡大が東京から全国に広がりつつある中に、もし遠距離移動中に感染したらとの心配から参列自粛のお願いだった。それを承諾し五十日祭で務める約束をしたが、その後感染拡大は更に広がりを見せ仕方なく家族だけで努めて頂く事との話しにまとまり、結局一年祭で合祀・納骨をする事になった。叔父は大正10年に教会の長男として生まれ育ち、工学の道に専念するため教会は三男であった父親が後を継ぎ、叔父は陰の力となり亡くなるまで教会に心を尽くし切ってくれた。その生き様は戦後生まれの私には分からないところはあるが、これからの自分の信仰や生き方に何かしら形は違うが学ぶべきところがあった様な気がした。何とか一年祭では墓前に参拝させて頂き教会を陰で支えてくれた事へのお礼が言える様、今は上手くコロナと共存出来る日が来る事を願うばかりである。(虫)